

健康診断の検査項目について

Vol.10

健康診断でよく行われる検査項目について、その働き・基準範囲・疑われる疾患などを解説していきます。

〔糖代謝を調べる検査〕

糖の代謝がうまくいかず、血中の糖の濃度が慢性的に増えた状態になるのが糖尿病で、初期には症状が出ないので早期発見するためには欠かせない検査です。

血糖 (GLU)

基準範囲：空腹時 78~99mg/dℓ 随時 78~109mg/dℓ

血中のブドウ糖のことで、体中の組織細胞のエネルギー源。正しい測定のためには空腹時に採血する。

高値・・・糖尿病・膵炎・肝硬変など
低値・・・膵臓病など

ヘモグロビンA1c (HbA1c)

基準範囲：4.3~5.5%

検査前1~2ヶ月間の血糖値の状態を調べるための検査。食事の影響を受けず、糖尿病の人の血糖コントロールの指標となる。

高値・・・糖尿病・腎不全など
低値・・・消化器がん・肝硬変・貧血など

〔貧血検査〕

貧血の原因や白血球などを調べる検査です。

血清鉄 (Fe)

基準範囲：男性 60~210μg/dℓ
女性 50~180μg/dℓ

体中の酸素を組織へ運搬するヘモグロビンの構成因子のひとつ。高値でも低値でも異常が考えられるので、さらに検体検査や画像診断などを行う。

高値・・・再生不良性貧血・白血病・肝硬変など
低値・・・鉄欠乏性貧血・悪性腫瘍など

藤枝健診センター健診検査課主任 高田 雅紀

池田部長 (公社)全国労働衛生団体連合会 功績賞を受賞

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会は、長年労働衛生関係業務に精励しその向上に功績、貢献のあった方々に、去る6月13日浅草ビューホテルにおいて表彰式を行い、当会健診検査部の池田部長が功績賞を受賞した。

池田部長は、平成9年3月に当会の総合健診センター・ヘルスポートの開設とほぼ同時期に入職し、新規事業である人間ドックを中心とした健診検査事業を軌道に乗せるために尽力した。特に、放射線担当業務に関する豊富な知識と精度の高い技術は、誰もが認めるところであり、当会の事業推進に大いに貢献をしてきた。また、非常に温厚で飾らない性格は、部下からも慕われており、周囲の信頼も厚い。

平成29年からは、健診検査部長として健診検査課、放射線課、保健指導課の3つの医療部門を統括し、部下の指導・育成、健診検査に関する精度の向上、過誤の防止に向けた取組みを積極的に推進している。

今後も当会の理念である「みんなの健康を守る」の実現に向け、その将来を担う管理職として大きく貢献してくれるものと期待される。



〔開催案内〕第49回学校保健セミナー

学校現場で起こり得る子どもの様々なケガ(骨折、捻挫、頭部の打撲、やけど、誤嚥・窒息、アレルギー反応など)への応急対応について、小児救急の医療現場に携わっている看護師の立場から、その場で求められる応急手当の方法等を具体的なケースを交えながら、分かりやすく解説していただきます。

- テーマ：「学校現場でできる子どものケガへの応急対応」
- 講師：静岡県立こども病院 看護部 小児救急看護認定看護師 塩崎 麻那子 氏
- 日時：平成30年10月30日(火) 14:00~16:00
- 会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」2階大会議室 (静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)
- 受講定員：100名(先着順) ※受付状況は当協会ホームページを確認願います。
- 問合せ先：(公財)静岡県予防医学協会 健康増進課広報担当
電話 054-636-6461 FAX 054-636-6462

〔開催案内〕第22回産業保健セミナー

ストレスチェック制度は平成27年12月に施行され、まもなく3年になろうとしています。今回のセミナーでは、15年以上集団分析結果を用いて職場環境改善に取り組んできた講師の経験を元に、ストレスチェックによる「仕事のストレス判定図」等による集団分析結果を、集団の選定方法や経年変化も踏まえながら、事業場に合った取組み方法について分かりやすく説明していただきます。

- テーマ：「ストレスチェックを職場環境改善につなげよう！」
- 講師：アールエイチ産業医事務所代表(産業医、労働衛生コンサルタント) 足立 留美子 氏
- 日時：平成30年11月14日(水) 14:00~16:00
- 会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」4階第1研修室 (静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)
- 受講定員：60名(先着順)
- 問合せ先：(公財)静岡県予防医学協会 健康増進課広報担当
電話 054-636-6461 FAX 054-636-6462

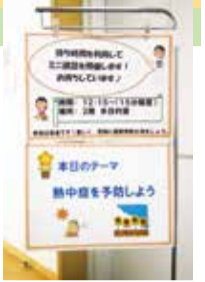
静岡県予防医学協会 総合健診センター

ヘルスポートだより

人間ドックの結果説明までの待ち時間に

『三二健康講話』開催中

人間ドックをご受診いただいた方には、午後、医師から結果の説明をさせていただきます。昼食から結果説明までの待ち時間を利用して、保健指導課スタッフによる「健康講話」を週に1度開催しています。受診者の方にお役に立つ健康情報をお伝えしておりますので、人間ドックご受診の際にはぜひご利用ください。



◀これまでの講話内容▶

- *生活習慣病を予防しましょう!
- *生活の中で活動量を増やそう!
- *熱中症を予防しよう!



胃・胸部X線デジタル検診車の整備

(浜松健診センター)

◆本年6月、胃・胸部X線デジタル検診車を導入しました。

このたび、当協会の浜松健診センターに、最新の画像診断装置を搭載した胃・胸部X線デジタル検診車を導入しました。

この検診車は、1台の検診車両で胃部と胸部のX線撮影ができるため、より効率的に健診を行うことができます。

胸部撮影で使用される画像診断装置は、間接変換FPD装置(フラットパネルディテクタ)と呼ばれ、人体を透過したX線をFPDで受け取り、電気信号に変換することで、レントゲン写真を得る装置です。従来のシステムよりも、X線の感度が非常に高いため、低いX線量で高画質な画像を描出でき、放射線被曝の低減と病変の発見率の向上が期待されます。また撮影後画像を確認するまでの時間が短くなり、受診者様の待ち時間の短縮が期待されます。

昨年、当協会に導入された胸部X線車両と同様に大きな特徴として、受診者様ではなく撮影装置が動くことや車内の床がフラットであるため、撮影時における受診者様の安全性が高まり、楽な姿勢のまま胸部X線撮影のポジショニングができます。

また、胃部X線デジタル撮影装置では、車載専用寝台を使用しており、稼働する各部の移動速度の高速化により効率の良い検査を実現できます。また撮影中に握っている手が滑りにくい構造の段付きハンドグリップの使用で、受診者様が安心して検査を受けられるようになっています。

さらに、検診車の側面に記載されている、くつろぎ空間でゆとりの健診をコンセプトに車内は白を基調として、受診者様に落ち着きとくつろぎを感じながら安心して健診を受けていただける空間となっています。

当協会では、現在X線検診車両を18台所有しており、今後も「みんなの健康を守る」の理念の下に静岡県民皆様の健康の保持・増進に努めてまいります。



年一回は健康チェックを! 健康はあなたの財産です
すこやかな明日のために

人間ドック 脳ドック ものわすれドック

総合健診センター ヘルスポート

〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8
TEL 054-636-6460 FAX 054-636-6465
☎ 0120-39-6460

「けんこう静岡」は、当協会ホームページから見るができます。

<http://www.shsa.net/> または「静岡県予防医学協会」で検索してください。